

受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「BNYメロン・グローバル好利回りCBファンド2016-04（円ヘッジ）（限定追加型）」は、2020年4月20日に第4期決算を行いました。当ファンドは、海外の転換社債を主要投資対象とし、信託期間を勘案しつつ、安定した収益の確保および信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行っております。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。



BNY MELLON

INVESTMENT MANAGEMENT

BNYメロン・グローバル 好利回りCBファンド2016-04 （円ヘッジ）（限定追加型）

追加型投信／海外／その他資産（転換社債）

交付運用報告書

第4期(決算日2020年4月20日)

作成対象期間(2019年4月23日～2020年4月20日)

- 当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記方法により閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記のホームページの「ファンド一覧」を選択いただき、当ファンドの「運用報告書（全体版）」を選択いただくと、閲覧およびダウンロードすることができます。
なお、過去5年間の運用報告書（全体版）につきましては、「ファンド一覧」画面の右「ファンド情報」欄の一番下の「運用報告書（全体版）過去分」を選択いただくと、閲覧・ダウンロードすることができます。

第4期末(2020年4月20日)	
基準価額	10,797円
純資産総額	1,498百万円
第4期	
騰落率	△2.2%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内1丁目8番3号
丸の内トラストタワー本館

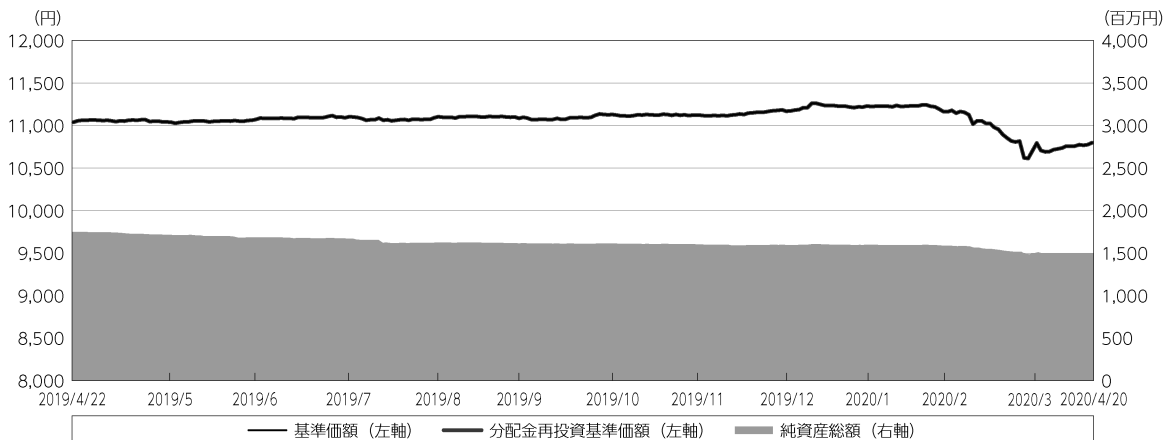
<運用報告書に関するお問い合わせ先>
運用商品開発部

電話番号：03-6756-4600（代表）

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページ <https://www.bnymellonam.jp/>

期中の基準価額等の推移



期 首：11,040円
 期 末：10,797円(既払分配金(税込み)：0円)
 騰 落 率： △2.2%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 当ファンドは分配金の再投資は行われません。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・ 2019年10月から2020年2月後半にかけて、米中貿易協議の進展期待が高まる中で、グローバルCB市場が上昇したこと。

(下落要因)

- ・ 2020年2月後半から3月後半にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済の先行き不透明感が高まる中で、グローバルCB市場が急落したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2019年4月23日～2020年4月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	162	1.460	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期間の平均基準価額は、11,082円です。
(投信会社)	(79)	(0.711)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(79)	(0.711)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(4)	(0.038)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	9	0.077	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.015)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に係る費用
(監査費用)	(5)	(0.047)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(0)	(0.001)	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
(その他)	(2)	(0.014)	金融商品取引に要する諸費用
合 計	171	1.537	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

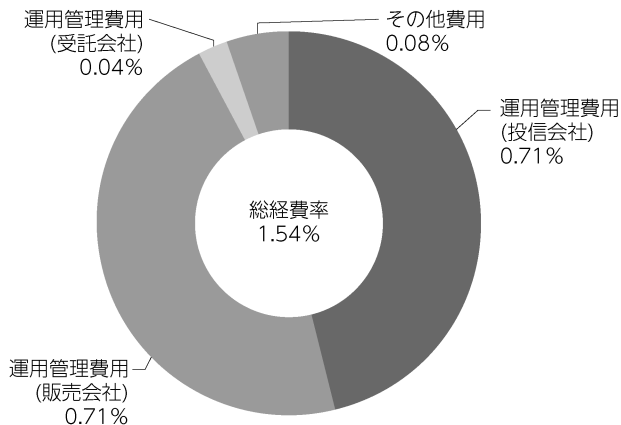
当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.54%です。

(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



最近5年間の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注) 当ファンドは分配金の再投資は行われません。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2016年4月21日 設定日	2017年4月20日 第1期末	2018年4月20日 第2期末	2019年4月22日 第3期末	2020年4月20日 第4期末
基準価額 (円)	10,000	10,720	11,034	11,040	10,797
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.2	2.9	0.1	△2.2
純資産総額 (百万円)	5,322	5,268	2,475	1,748	1,498

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定していません。

投資環境

当期前半のグローバルCB市場は、米中貿易摩擦の長期化懸念の強まり、核開発を巡る米国とイランの関係悪化、英国の欧州連合（EU）離脱問題に対する不透明感の高まりなどを背景に、上値の重い展開が続きました。

2019年10月から2020年2月後半にかけては、短期的に弱含む場面があったものの、米中貿易協議の進展期待を背景に世界経済に対する過度な景気減速懸念が後退したこと、英国の合意なきEU離脱の可能性が低下したことなどを受けて、堅調に推移しました。

2020年2月後半以降は、新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済の先行き不透明感が高まる中でリスク回避的な動きが強まり大きく下落しましたが、期末にかけては、各国の金融・財政両面からの景気刺激策が好感され買い戻されました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドにおいては、実質的な運用について、BNYメロン・グループ傘下の運用会社であるメロン・インベストメンツ・コーポレーションに委託を行っています。

当ファンドでは、魅力的な利回りを有するCBからの収益を追求する投資アプローチを採用し、期を通じて魅力的な利回りを有するCBの組入れを高位に保ちました。また、為替については、期を通じて、実質外貨建資産に対し原則として対円での為替ヘッジを行ったため、為替変動による影響は限定的でした。

国別配分

国別の投資配分は期を通じて米国が最大となりました。

業種別配分

業種別配分は、期を通じて金融、工業などのセクターが概ね上位を占めました。期末時点における配分の上位3業種は、金融19.7%、工業9.2%、通信7.9%でした。また、米国国債を10.9%保有しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

分配金

期中の収益分配については、基準価額の水準等を勘案し、見送りとさせていただきました。収益分配に充てなかった留保益につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用致します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第4期
	2019年4月23日～ 2020年4月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,443

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

当ファンドは、信託期間満了まで1年となりましたが、信託期間を勘案しつつ、安定的な利子収入の確保とともに中長期的な信託財産の成長を目的とした投資を継続して参る所存です。

■お知らせ

・社名変更のお知らせ

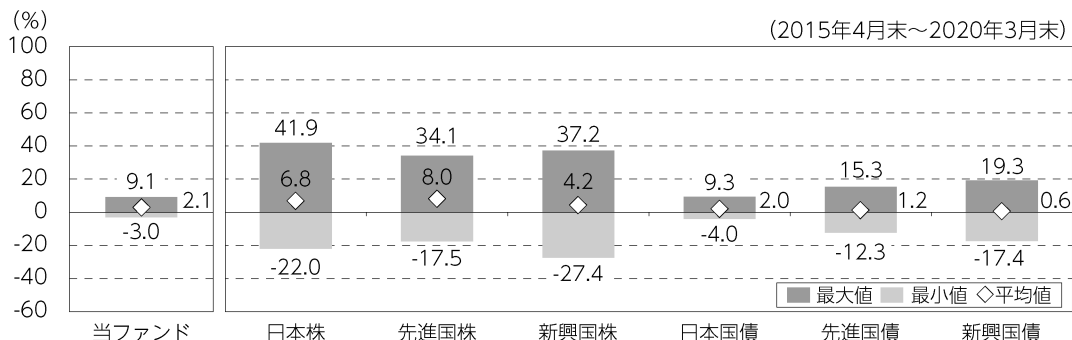
BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社は、2020年4月1日をもって商号を「BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社」に変更いたしました。これに伴う約款変更を2020年4月1日付で行っております。

■当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（転換社債）
信託期間	2021年4月20日まで
運用方針	海外の転換社債を主要投資対象とし、信託期間を勘案しつつ、安定した収益の確保および信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	海外の転換社債を主要投資対象とします。
当ファンドの運用方法	①主として、米ドル建ての転換社債に投資します。 ②信託期間は5年とし、投資銘柄は原則として「バイ・アンド・ホールド」としますが、運用者の判断で売却することがあります。 ③信託期間内に償還を迎える転換社債や米国債、社債等への再投資を行うことがあります。 ④ポートフォリオ構築時の平均信用格付は、原則としてBBB-格相当以上とします。 ⑤外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。 ⑥運用にあたっては、「メロン・インベストメント・コーポレーション」に運用の指図権限を委託します。 ⑦資金動向、市況動向その他の要因等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
分配方針	毎決算時（原則として、毎年4月20日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として基準価額水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で分配を行わないことがあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年4月から2020年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2016年4月21日に設定されたため、2017年4月から2020年3月までの数値であり、単純な比較はできません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

先進国株・・・MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

日本国債・・・NOMURA - BPI国債

野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE Fixed Income LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

■当ファンドのデータ

組入資産の内容

○組入上位10銘柄

(2020年4月20日現在)

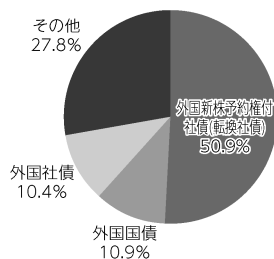
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	US TREASURY FRN 2021-01	国債証券	米ドル	アメリカ	10.9
2	5.375% PENNYMAC CORP5/20	新株予約権付社債(転換社債)	米ドル	アメリカ	4.3
3	3% SEACOR HOLDINGS 11/28	新株予約権付社債(転換社債)	米ドル	アメリカ	4.3
4	3.75% VEREIT, INC. 12/20	新株予約権付社債(転換社債)	米ドル	アメリカ	3.9
5	3.875% COLONY CAPITAL1/21	新株予約権付社債(転換社債)	米ドル	アメリカ	3.5
6	3% PRA GROUP INC 8/20	新株予約権付社債(転換社債)	米ドル	アメリカ	3.5
7	4% PATTERN ENERGY G 7/20	新株予約権付社債(転換社債)	米ドル	アメリカ	3.3
8	1.625% CALAMP CORP 05/20	新株予約権付社債(転換社債)	米ドル	アメリカ	3.2
9	0.25% TEVA PHARM CO 2/26	新株予約権付社債(転換社債)	米ドル	アメリカ	3.0
10	1% CTRIP.COM INTL 07/20	新株予約権付社債(転換社債)	米ドル	ケイマン	3.0
組入銘柄数			23銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

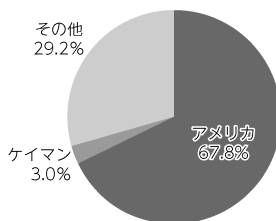
○資産別配分



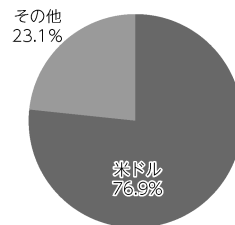
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。通貨別配分につきましては通貨別純資産の比率です。

○国別配分



○通貨別配分



純資産等

項目	第4期末
	2020年4月20日
純資産総額	1,498,906,336円
受益権総口数	1,388,286,101口
1万円当たり基準価額	10,797円

(注) 期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は195,137,381円です。